

光鯨会だより

第31号 [令和3年12月]

発行 | 光鯨会
会長 | 小野 徹郎 (S43)
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)
連絡先 | 佐藤 篤司 (H10)
☎ 052-735-5200
✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

I | 会長挨拶

□ 会長挨拶 「再会を期して」

小野 徹郎 (S43) 光鯨会会長 / 名古屋工業大学名誉教授



すっかり秋らしくなりました。時の移ろいの早さに自らの歳を感じます。この「光鯨会だより」が届く頃には初冬の気配に包まれていることでしょう。我が国では10月に入り急激にコロナ感染者数が少なくなってきました。一説にはウイルスの自壊説も出ていますが、

この要因は専門家でも首を傾げています。マスクもしないで集まっている外国の映像を見ていると日本との違いは明らかで、ワクチン接種もさることながら、国民のルールを守る地道な行動によるものではないかと思えます。いずれにしてもこのまま鎮静化することを願って止みません。

昨年の建築学会大会はコロナ禍で中止になりましたが、今年は母校である名古屋工業大学で、井戸田先生をはじめとして母校の先生方のご努力でリモートとはいえ開催されました。私もリモートで研究発表会に参加しましたが、やはりなかなか意思疎通ができずもどかしく感じま

した。45年ぶりで母校に全国からのお客様を迎えて直接意見交換や友情を温める機会でしたが残念です。

光鯨会の活動は幹事の方々のご努力で学生への援助も含めて例年通りおこなわれています。今年は隔年開催となっている鈴木禎次賞の審査を建築家堀越英嗣先生を特別審査員としてお招きして行い、11月10日にリモートで授賞式を行いました。また11月13日には関西支部の総会がやはりリモートで行われました。40名を超える方が参加され、九州からの会員も含めて遠距離からの参加もあり、リモートのいい面がみられ、今後の運営のいいお手本になりました。

こうした光鯨会の活動は、当然ですが会員皆様の会費で運営されています。一昨年は寄付も含めて増加傾向にありましたが今年は少々少くありません。私としてはなんとか納入率30%は超えたいと思って、再請求も行なっていますが、是非今後とも会費の納入をお願い致します。このままコロナが下火になり皆様と再会できることを願っています。

II | 恩師だより

仙田 満 (TOK) 元名古屋工業大学教授



1985年から5年半、名工大で教授を務めました仙田満です。在籍中はお世話になりました。名古屋での思い出は楽しいことばかりです。大学と地域、自治体等、新しいネットワークができたことは、私の人生にとってとても有意義でした。

日本建築学会賞作品賞を受賞した愛知県立児童総合センターの設計、名古屋デザイン博への参加、環境デザイン研究への挑戦、建築の個体距離の研究、こどものあそび環境の国際比較の研究等は、多くの名工大時代の思い出です。

現在、建設会社等に勤めている卒業生と一緒に仕事をする機会があり、頼もしく感じています。先生をやって良かったといつも感じています。

今年80歳を迎えましたが、まだまだ現役建築家として活動しております。名古屋、東海地域では名古屋文化

幼稚園、椋山女学園大学附属幼稚園等のこどもの施設や豊田、岡崎、名古屋、岐阜、鈴鹿等で仕事をしてきております。私の事務所には現在4名の名工大出身者が在籍して、最大派閥を形成しています。小野先生には所員の構造教育をお願いしておりました。

気持ちは若い時のままですが、体力的、脳力的な衰えは自覚せざるを得ません。しかしなんとかその衰えの速度と、仕事の仕方を調整し、後3冊は本を書きたい、後20園はこどものための建築を設計したい、図書館も、劇場も、スタジアムも設計したいと欲張って考えております。

かつて大学に通っていた頃には制限されていた時間を、今は設計と執筆に十分に充てられています。40歳代後半の名工大での充実した時期は、私にとって遊環構造理論の揺籃期でもありました。次の世代が元気に過ごせる建築環境を遊環構造によって、さらに広げていきたいと考えております。

皆様方のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

III | 卒業生は今

□本部

上本 晃平 (H25) 愛知県庁

愛知県に建築職として入庁し、9年目となります。

新規採用では公営住宅建設工事調整と工事監理、2つ目の部署では建築基準法・都市計画法の許認可の仕事に従事し、現在は長久手市内の愛・地球博記念公園内でのジブリパーク建設工事調整の仕事に従事しております。

ジブリパーク建設工事は実施設計の段階から携わらせて頂いております。設計図面だけでは表現が難しいデザイン監修者の意向の反映の手法として、技術提案・交渉方式のうちECI方式(技術提案・施工方式)を採用して実施設計を行い、現在工事を行っております。

ジブリパークの開業は、2段階を予定しております。第1期の開業予定の2022年秋を目前に控え、工事中の

建設工事調整、園内調整のほか、開業に向けて運営関係者との調整も始まってきました。

開業後、多くの方々に楽しんで頂けるように今後も一層尽力していきたいと考えています。



図 整備エリア

□関東支部

黒田 満 (H2) (株)構造計画研究所

卒業後、構造計画研究所に入社して31年が経過しています。設計事務所としては独立系の構造設計事務所であり、入社以来構造設計部に所属してアトリエ系意匠事務所、組織設計事務所、ゼネコン各社からの依頼による構造設計及び監理業務に従事してきました。これまで平均すると年間2~3件ペースで業務を行ってきた感じで、50件以上の設計監理物件に携わってきたことになります。建物用途や規模は依頼する顧客により様々で、平屋建てから超高層まで係わることができ、また選択する構造種別や構造形式も多岐にわたるので、構造設計監理はやりがいのある仕事だと思っています。最近では社会のニーズに合わせて、弊社では木造CLT関連の設計や風力発電のタワーや基礎設計などのコンサル業務も行っています。

私自身もうベテランの年齢ですので、ここ数年は自分で手を動かすのではなく、構造品質保証センターという部門に属して、社内品質チェックを行う責任者として活動します。若い人たちが設計した物件や監理する物件に関して、社内チェックすると同時に設計や監理の相談、アドバイスを広く行うというミッションの元に活動して

います。建物の構造安全性に対する社会の目が厳しくなっており、社会的責任やその重要性和同時に構造設計監理の楽しさ、やりがいを若い人たちに伝えていきたいと思ひ、今後ともこの活動を続けていきたいと思っています。



最近竣工した物件の写真

□関西支部

中西 達彦 (S54) 元和歌山県庁



私は1979年に卒業し、和歌山県庁に就職し、色々な部署に勤め、2017年に都市住宅局長を最後に定年退職しました。その終盤の15年ほどは、希望であった都市計画・再開発・まちづくりに携わることができ、精一杯働くことができました。都市計画、鉄道新駅建設、景観条例、まちづくり、市街地再開発、リノベーション等々。その間、和歌山市役所に3年

余り出向し3地区の市街地再開発を手掛けました。昨年ようやく、それらが竣工し和歌山の街を変えつつあります。

名工大から公務員になる人はそう多くはないようですが、私の場合は県庁・市役所で比較的に恵まれ、「公務員もそう捨てたものではなかったなあ。」と思っています。

現在は、再就職先であった田辺市役所(市庁舎の建替移転)も退職し、宮仕えを終えて近畿大学生理工学部の非常勤講師(建築法規担当)と某町の津波浸水区域での小学校の現地建替えのお手伝いをしています。

IV | 大学は今

□分野長挨拶

楠原文雄 (TOK) 名古屋工業大学社会工学教育類長／建築・デザイン分野長／名古屋工業大学教授

光鯨会会員の皆様方には、常日頃より、学生および教員に対して温かいお心遣いをいただいておりますこと、教員を代表して心より感謝申し上げます。

コロナ禍も完全には収束していない状況下ではありますが、今年度になり、本学では学生の登校機会を確保するために講義科目をハイブリッド型で実施しております。学生を学生番号の奇数・偶数で分け、半分の学生は教室で対面での授業を受け、他の半分は別途用意された動画教材を自宅等で視聴する形式で、1週ごとにどちらの形式の授業を受けるか入れ替えるというものです。また、昨年4月から使用を控えておりました24号館4階のデザインスタジオ・アトリエも10月より入室者数を制限しつつではありますが使用を再開しております。使用再開にあたっては学生が主体となって片づけや不要物の廃棄などを進め、3年生を中心に学年を超えて活動する姿を1年半ぶりに見ることができました。

コロナウィルスの感染拡大が落ち着いてきた10月には、二日間にわたりネットワークキャンパスとして被災から10年を迎える福島・石巻を訪れてまいりました。名古屋工業大学建築・デザイン分野と光鯨会とで主催するネットワー

クキャンパスは、建築の専門家として建築設計やまちづくりなどに従事する卒業生と、これから建築の専門家として未来を担っていく学生とが一堂に会し、過去・現在・未来の理想像を語り合い互いに深めあってきたものです。今年は14名の学生が参加し、卒業生からは古市理氏 (H08年卒)、各務篤史氏 (H15年卒)、篠原里織氏 (MH30年卒)にご参加いただき、教員は北川啓介教授と小職が参加して、『東日本大震災以後のまちと建築の再考』をテーマに現地に赴いて実施されました。復興のいまを見て感じ、また、現地の方の話の直にうかがいました。学生はグループに分かれて事前リサーチと現地での体験を踏まえた提案を議論しており、近く発表の機会を設ける予定であります。

このような時世であるからこそ、卒業生の皆様方をはじめとする多くの方々とのつながりの重要性を強く感じる日々でございます。皆様方にも今後ともいっそうの「密な」おつきあいをいただければ幸いに存じます。



10月24日 石巻市福貴浦浜にて

□OB・OG交流会

寺尾 敬哉 (H25) トヨタホーム(株)

12月7日に光鯨会本部第16回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。学部3、4年生、大学院生を対象に、OB・OGから仕事の内容や職場の様子、就活のアドバイス等を紹介し、今後の進路の参考にしてもらうことを目的に毎年開催されています。16回目の今回はコロナ対策として会場参加だけでなく当日の様子をライブ配信しweb参加も可能となりました。

先輩からの「仕事に関する本音の話」として、5名のOB・OGの方に現場監督、意匠設計、ハウスメーカー、施主関係、官公庁の様々な立場から仕事内容や勤務状況等について紹介していただきました。

H30卒 鈴木 泰嗣さん (大林組)

H27卒 木田 脩太さん (中建設計)

H27卒 村松 信彦さん (大和ハウス工業)

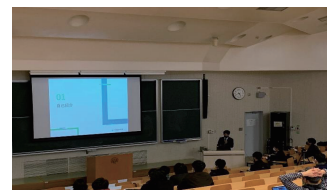
H14卒 橋本 泰彰さん (東邦ガス)

H30卒 梅田 萌さん (名古屋市役所)

実例を交えた仕事内容の紹介や、仕事のやりがい、苦労話などここでしか聞けない体験談を話され、学生達も真剣に聞き入る様子が伺えました。

質疑応答では仕事場での服装など気兼ねな質問から、就職活動時と実際に働いてみて感じたギャップ、設計者同士で意見が対立したエピソードなど具体的な話まで様々な質問が飛び交いました。

参加された学生からは、「参考になった」「視野が広がった」と好評の声を頂き、今後も継続して開催していきたいと考えています。



OB・OG交流会の様子

IV | 光鯨会は今

□秋の見学会報告

金子 直樹 (H14) 名古屋市役所

10月30日(土)に2021年度秋の見学会が実施されました。今回は、名古屋城本丸御殿の見学ということで20名の方が参加され、現地の見学に先立ち、名古屋能楽堂の会議室において、本丸御殿復元工事の現場事務所長を務められた株式会社安藤・間の吉原一彦様に、復元工事の工程の解説とその難しさなど、貴重な記録映像を上映いただきながら、当時の現場の様子も交えて貴重なお話を頂きました。その後、感染症対策のため会話を控え目に距離をとってということになりましたが、吉原様にもご同行いた

だき本丸御殿内の見学を行いました。今年度の春の見学会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっており、今回も色々制約がある中での開催でしたが、天気にも恵まれ有意義な見学会でした。



□関東支部だより

末廣 晃一 (S58) 関東支部長／(株)大林組



関東支部長の末廣です。関東支部では例年11月末に支部総会を開いておりますが、コロナ禍のため今年も昨年に引き続き中止となりました。

そのため、この半期についても支部からの報告らしい報告は書けないのですが、この原稿を書いている11月上旬においては、コロナウイルスの感染者数も夏の騒ぎが嘘のように落ち着いて来ており、状況は改善しつつあるようです。

勤務先の様子を少々書いてみます。第6波は必ず来ると言われていますが、そのせいか勤務先では常設部門の「テレワーク率50%以上」という目標は未だ下げられていません。家でテレワークの合間に洗

濯物を干したり、ゴミ出しをしたりする生活にもすっかり慣れました。TV会議システムも一気に普通になりましたが、たまに客先と面着で打合せをすると、「やっぱり画面越しは、難があるな」と感じますし、一般建築部門の友人からは、「パソコンの上で図面チェックやっていると、紙での概観性が無いため、チェック漏れの内容が変わってきた。」などという話も聞きました。コロナのおかげ(?)で、本来もっとユックリやって来るはずだったものが、一気にやって来た感があり、オジサンは少々苦勞してます。

第6波は何時くるのか?山の高さはどれくらいか?お役目上、とても気になる今日この頃ですが、気を緩めず日常が戻ってくる事を待ちたいと思います。

〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟
(株)大林組 (03-5769-1111)

関東支部長 末廣 晃一 (S58)、副支部長 吉井 正行 (S58)
副支部長 鈴木 孝彦 (S59)、連絡担当者 田中 薫 (S63)

□関西支部だより

中尾 勝悦 (S59) 関西支部長／中尾総合建築設計事務所代表



今年もwebにて11月13日(土)に関西支部総会を開催し、他支部や工業会を含め34名もの同窓生に参加して頂きました。第1部の総会では、光鯨会の小野会長 (S43) と工業会大阪支部の川越副支部長 (E47) に来賓としてご挨拶を賜り、本部幹事の佐藤准教授 (H10) より

母校の近況報告をして頂きました。第2部では、山川本部幹事長 (S60) より「本部の近況報告」、大学院2年の河内さん (R1) より「6年一貫プログラム創造工学教育課程を振り返って」、そして本部長の井戸田教授 (S58) からは「2021年度建築学会大会の運営について」を講演して頂きました。時間通りに閉会し、残った皆様からは全員に一言二言の感想を述べて頂きました。『素晴らしい支部総会』、『充実した内容』などなど数多くのお褒めの言葉を頂き、事務局共々嬉しく思っています。

また今年、総会の他に2月・6月・8月にweb

幹事会+ミニ講演会を開き、10月にもweb幹事会を持ちました。昨年は、支部規約の12年ぶりの改訂・復活を果たせ、コロナ禍に始まりコロナ禍に終わった今期幹事会ではありますが、和歌山・岡山・広島・九州など遠方からの参加もあり、Webならではの成果も上げることが出来ました。来期は田邊新支部長 (S57)・神澤副支部長 (S58)・竹内事務局長 (H03)のもと、コロナ禍明けの楽しい支部総会が開かれることを期待しています。



〒541-0053 大阪市中央区内本町4-1-13
(株)竹中工務店大阪本店 (090-3166-8456)

関西支部長 中尾 勝悦 (S59)、副支部長 小山 明 (S59)
事務局長 (連絡担当者) 中瀬 知幸 (S59)

